

ネイチャーウォッチングだより

令和5年8月31日(木)

主催:愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大・短大

8月26日(土)、B日程第1回のネイチャーウォッチング「川の生き物調べ」を開催しました。会場は岡崎市ホテル学校。幸い天候に恵まれ、数日前の大雨で増水していた水も引いて予定通り実施することができました。今回は、26組の親子合わせて80名が参加し、「川にすむ生き物を知り、実際に川の生き物の採集体験をする」ことを目的として行いました。

講師は、岡崎市立河合中学校の田中啓之先生です。この会のために、カワムツやオイカワ、ヨシノボリなどの魚類や、ミズスマシ、ミズカマキリなどの水生昆虫を水槽に用意してくださいました。会場に着くとさっそく興味深そうに見入る子どもたちもいました。

田中先生は、三河地方の川や池で見られる魚や水生昆虫などの生き物を写真で紹介し、「網で生き物を追いかけても逃げられます。網を固定しておいて手や足で追い込むといいですよ」と、網の使い方などを説明されました。



田中先生のお話の様子



何がいるかな？



アカザを捕まえたよ！

続いて、ホテル学校の横を流れる鳥川で、グループごとに親子で生き物を採集しました。水深は膝くらいまでで、低学年の児童も安全に活動することができました。

川に入って生き物探しが始まると、「いたいた！カニがいた！」「お父さん、これ何？」などの声があちらこちらで聞かれました。自然体験を親子で一緒に始めるきっかけとなれば良いなと思って見ていました。事後アンケートには「これまで川で生き物に触れる機会がなかったので、親子共々とても楽しく学ぶ時間になりました(母)」などの感想が見られ、今後の自然体験につながる予感がしました。

生き物採集では、サワガニのほか、さまざまな種類のヤゴ(トンボ幼虫)、カゲロウやカワゲラ、トビケラなどの水生昆虫、ヨシノボリやカワムツ(稚魚)などの魚類を確認することができ、グループで紹介し合いました。アカザという絶滅の心配のある魚も見つかり、鳥川の自然の豊かさを実感しました。最後にアンケート結果の一部を紹介します。

・アカザが我が家の網に入ってくれて、大盛り上がりでした。今まで知らなかった魚だけど、捕まえたことをきっかけにどんな魚なのかを調べたりして、とても有意義な時間を過ごすことができました。(母親)

・捕まえた魚を逃すのは悲しかったけど、いろいろな生き物を捕まえることができうれしかった(子)
・先生と学生スタッフの皆さんと子どもが交流できたことも良かったです。暑い中、準備いただいた皆様のご尽力に感謝します。(父親)

・とても楽しかった。川に見たことのない生き物がいた。(子)
・実際に見て触って、さまざまな川の生き物を知ることができて、とても面白かったです。(子)

ホテル学校の前で全員集合！

